

協働で子どもを育てる

～「上関町地域協育ネット」の取組～

【上関町 上関中学校区】

地域の概要

上関町は、山口県の東部に位置し、周防灘に向かって突き出た室津半島突端の室津と対岸 200mの上関海峡を隔てた長島と離島の祝島、八島からなります。現在、上関町は上関中学校の一区区（祝島中学校：休校中）のみです。

昭和 44 年に上関大橋の開通により、人々の生活圏が拡大するとともに生活様式にも変化が生じ、近隣市町への通勤が年々増えています。町内全域に過疎化の現象が現れ、児童生徒数は減少しています。

上関町では、平成 20 年度から義務教育の 9 年間で上関の子どもを見守り育てていこうという小中一貫教育に取り組んでおり、異校種・異学年の交流や学校行事を合同で行うなど、学校・家庭・地域が連携して、子どもの成長を見守る教育をめざしています。

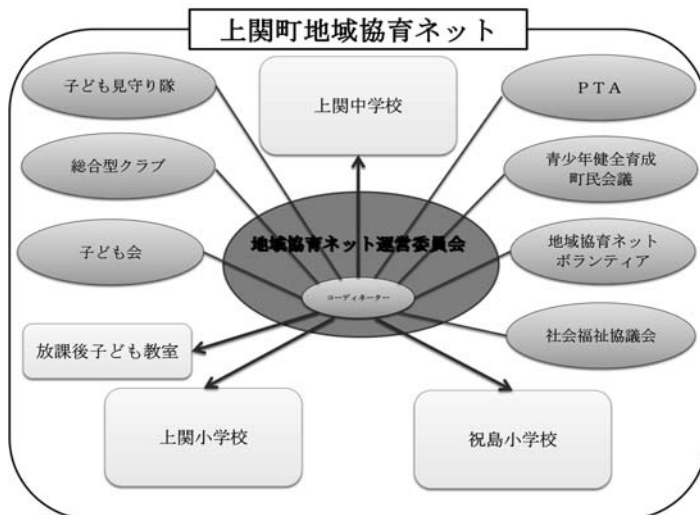
地域住民、保護者の学校に寄せる期待は大きく、教育活動への支援に積極的で、協力的です。

人 口	3, 193 人 (高齢化率 53. 37%)	
世 帯 数	1, 745 世帯	
対 象 校 及 び 児 童 生 徒 数	上関中学校	45 人
	上関小学校	69 人
	祝島小学校	3 人

組織の内容

「上関町地域協育ネット運営委員会」は、心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、学校・家庭・地域が相互に連携し、学校や家庭での教育活動への支援及び放課後等における子どもの安全で安心できる居場所づくり（放課後子ども教室）を推進することを目的として設置しました。

運営委員会は、統括コーディネーターや学校教育関係者をはじめ、PTA関係者、社会教育関係者、児童福祉関係者、放課後子ども教室関係者、地域団体の代表者等から構成されています。今年度からは、社会福祉協議会や総合型クラブ設立準備委員会の代表者に加え、運営委員は 13 人となっています。



特色・重点的な取組

○小小連携、小中連携等の学校間連携の充実

本町は小中一貫教育を推進しており、中学校区での「めざす児童生徒像」を掲げ、各校が連携しながら児童生徒を育てています。小・小間では学習や行事を通じた交流を盛んに行っています。小・中間では主な行事の合同開催や、中学校教員が小学校に出向き、小学校教員と協働して授業を行ったり、小学校教員は、中学校が行う補充学習の支援を行ったりしています。

○放課後子ども教室の充実

本町の「地域協育ネット」は、放課後子ども教室にも力を入れており、運営委員会においては放課後子ども教室の活動についても活発な意見が交わされます。特色となっている長期休業中の開設は、地域の方や団体等の理解と協力が不可欠です。放課後子ども教室は、「地域の子どもは、地域で育てる」という思いに支えられた地域ぐるみの活動となっています。

主な活動の紹介

○保育所との連携、学校間連携

・保小連携（保小交流会）

毎年、上関小1年生と町内二つの保育所に通う年長園児との保小交流会が行われています。児童が様々な遊びのコーナーを設け、園児と交流します。また、その後は保育士がファシリテーターとなり、児童と園児がレクリエーションで共に仲良く活動しました。



保小連携（保小交流会）

・小小連携（交流学习）

上関小3年生が、祝島へ特産のびわの収穫体験に行きます。年間を通じて、祝島小の児童が上関小を訪れ、交流学习を行う機会がありますが、その逆の機会はなかなかありません。今年度は、この機会に祝島小6年生から「練塀」について説明してもらい、上関小児童は祝島の歴史や文化の一端にふれることができました。



小小連携（交流学习）

・小中連携（ふれあい弁当）

「ふれあい弁当」は約20年続いている恒例行事です。町内の対象地域2か所（今年度は白井田福祉センターと蒲井小規模老人憩いの家）に上関中3年生と上関小5年生が訪問し、地域の高齢者の方と昼食を共にし、楽しいひとときを過ごしました。高齢者の方から、小・中学生がおはじきや折り紙、あやとりなどを教わりました。



小中連携（ふれあい弁当）

○放課後子ども教室

昨年度から長期休業中の平日開設を開始し、今年度は、計32日開設しました。統括コーディネーターや教育活動推進員をはじめ、放課後子ども教室関係者の熱心な活動により、連携する団体が増えるとともに活動内容が充実してきています。特に、今年度は社会福祉協議会と連携することにより、ニュースポーツを通して高齢者の方と子どもたちが積極的に交流することができました。



放課後子ども教室
（ニュースポーツ）

成果と課題

学校間連携については、年々積極的に行われるようになり、内容が充実してきています。しかし、学校支援活動の拡充を図るために、児童生徒の活動の様子を地域に向けてより積極的に情報発信していくことが課題だと感じています。放課後子ども教室については、長期休業中の開設が軌道にのってきました。更に活動を充実させるために、活動範囲の拡大や、新たな活動プログラムの開発等が今後の課題です。

今後の取組

町内小・中学校には「もっと地域のために貢献したい」という強い思いがあります。その思いを大切にするため、子どもたちが地域へ出向いて貢献できる機会を増やしていきたいと思っております。